

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者様各々の自尊心や羞恥心に配慮した声掛けが徹底できない。	・職員としての意識を持ち、入居者様の立場に立ったケアを行う。	・職員同士がお互いに利用者様との関わりや声かけのし方について、注意しあえるような関係を構築していく。・「自分が利用者様の立場だったら」という意識を常に持って関わり、更にミーティング時に確認する。	6ヶ月
2	6	身体拘束や行動制限について、職員各々の認識が違う。	・利用者本位のペースで日常生活が送れるように支援していく。	・帰宅願望が強い方に対する外出の支援を十分に行う等状況を受け入れ、利用者様が納得できるような接し方をする。 ・BPSDが顕著な方に対する向精神薬での行動制限についてや身体拘束の定義等、スタッフ会議にてケースごとの話し合いを持ち、職員が同じ意識で関わられるようにする。	6ヶ月
3	13	・研修等への参加や勉強会の開催が出来ていない。	・定期的に学習や自己啓発の機会を得、意欲的に仕事をする。	・定期的に全体会議を開催し、ケース検討会や研修の発表会を行い、職員全員が同じ意識と知識をもって仕事ができるようにする。 ・各事業所、ユニットの利用者様の様子や問題点を皆で話し合い、全職員で全利用者様を支援するという意識を持つ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。